

名寄市地域公共交通網形成計画策定の作業状況について

1.これまでの経過

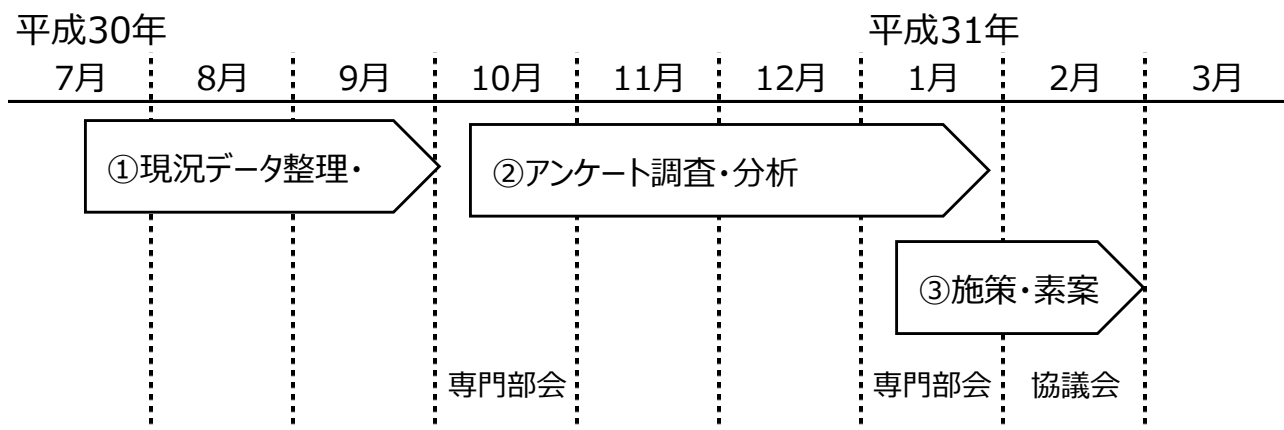
平成 30 年 1 月 平成 29 年度第 3 回協議会
 ・計画策定に取り組むことを確認

〃 5 月 平成 30 年度 第 1 回協議会
 〃 第 1 回専門部会
 ・計画策定作業内容（作業スケジュール等）を確認
 ・コンサルに調査業務委託することを確認

〃 10 月 平成 30 年度 第 2 回専門部会
 ・公共交通現況の整理状況報告
 ・網計画に係るアンケートの実施内容確認

平成 31 年 1 月 平成 30 年度第 3.4 回専門部会
 ・アンケート調査結果報告
 ・計画の方向性（課題整理・方針・施策案）

(H30.6 月以降の作業の流れ)



(専門部会での主な意見)

1/15 第3回専門部会

- ・現在の公共交通では免許返納後など今後、名寄市に住み続けられるかの不安
- ・ここで生活していくために仕方なく車を持っている
- ・買い物支援など他の施策との連携
- ・学校教育の中で公共交通に意識啓蒙
- ・行政の財政支援がないとバス運行難しい
- ・慢性的な運転手が不足

1/31 第4回専門部会の報告

○交通ネットワークの基本は JR

- ・立地適正化計画と公共交通網形成計画はリンクする。コンパクトシティ化が進んでも、智恵文、名寄、風連が拠点となる。その拠点を結ぶのは JR。
- ・JR とバスを併用していくことも必要
- ・遠方に行く場合は JR 利用となる。
- ・JR を中心としてバスを結節させていく

○高齢者をターゲット

- ・交通弱者（学生、高齢者、障がい者）を優先的に支援していく
- ・高齢者を優先としても若い世代の理解はある
- ・高齢者も免許持っているので、バス利用者は増えていかない

○その他

- ・全てを行政で対応することは難しい
- ・バスを確保して欲しいという人が車を使う
- ・買い物するためには車は手放せない
- ・智恵文からタクシーを使うわけにもいかない（経済的に）
- ・経済的にも行政は限界に近い
- ・バス、電車の運行は行政で行うとコストがかかるので民間業者支援が必要。